

座面台昇降用の補助具の製作

1 相談内容

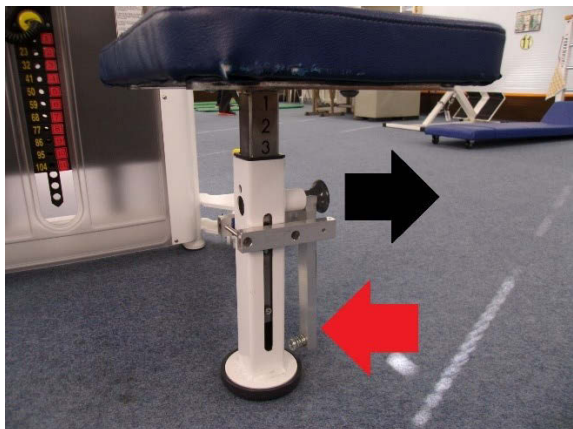
名古屋市障害者スポーツセンター職員より、利用者である片麻痺の方が筋力トレーニングマシン(以下、マシン)の座面台の高さを自分で調整することが難しいため、これを操作できるようにしてもらえないかと相談がありました。このマシンの座面台の高さ調整は、座面台下のレバーを引くとロックが外れ、手で押さえながらその高さを調整できるのですが、両手動作になるため片手ではその調整が難しくなっています。そこで座面台の高さを調整する補助具をプラザで製作することにしました。

2 利用者プロフィール

脳梗塞などによる片麻痺の方が利用されています。

3 対応

「てこの応用」で操作ができることはわかっていましたので、レバーが引かれる長さ(ストローク)や座面台の支柱などの採寸を行って、補助具を製作しました。バーを足で押すと、レバーが前に出て、マシン座面台の高さ調整機能のロックが外れ、座面台が上にあがります。それを手で押さえながら、適切な高さになったら足を離してロックします。



バーを押す(赤←)とレバーが引かれる(黒→)



操作の様子

4 結果

利用者からは、かがんで不安定な姿勢でレバーを引かなくても済むようになったし、「(身体の)バランスを崩さずに片手片足で座面台の高さを変えられるようになって、とても便利になりました。」と感想を述べられました。問題なく使用できているものと思われます。

5 予算

2,100 円程度